I-O DATA

MANU001302

導 入 マ ニ ュ ア ル

LTV署名拡張オプション
LTV-Sign

※本書では対応機種を「タイムスタンプ専用機」と記載します。
※最新情報は弊社 Web ページ（https://www.iodata.jp/）でご確認ください。

シリアル番号

ソフトウェアのダウンロード時に必要です。
大切に保管してください。

※本製品には、「LTV-Sign」用のディスク等は添付しておりません。
ソフトウェアは、インターネットからのダウンロードにてご提供しております。

準備する

本アプリは、設定された監視フォルダーに作成されたファイルを検知し、電子署名を付与します。また、手動でも選択した PDF ファイルなどに対して電子署名を付与することができます。
自動・手動にかかわらず PDF ファイル以外に対しては頭紙として PDF ファイルを利用することで電子署名が付与されます。

電子証明書の入手について
電子署名をおこなうには、電子証明書（証明書）が必要です。
事前に、利用目的にあった証明書を発行している認証局（CA）に手続き方法を確認し、必要書類を準備、申請して入手してください。

本アプリをインストールする前に以下の準備をおこなってください。

1. タイムスタンプ専用機を設置する
▼
2. プロキシ設定をおこなう
▼
3. Adobe Acrobat Reader を入手し、設定する
▼
4. 認証局ルート証明書を登録する

この後、本アプリをダウンロードし、インストールします。
LTV-Sign の初回起動時以降の使用方法については、詳細ガイド（Web）でご確認ください。

初期設定

1. タイムスタンプ専用機を設置する

タイムスタンプ専用機の【管理マニュアル】または【詳細ガイド】の下記ページをご覧になり、設置を完了してください。

【ステップ1　ISS に登録する】
【ステップ2　設置する】
【ステップ3　NarSuS に登録する】

本製品の操作については
その他 NAS の操作については、タイムスタンプ専用機に添付のマニュアルでご確認ください。

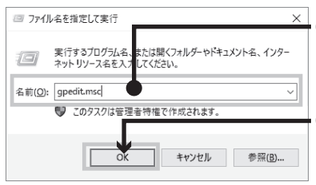
2. プロキシ設定をおこなう

インターネット接続の際にプロキシを使用する場合は、事前に以下の設定をおこなってください。

1 タイムスタンプ専用機にログオンする

2 [スタート]→[Windows システムアプリ]→[ファイル名を指定して実行] をクリックする

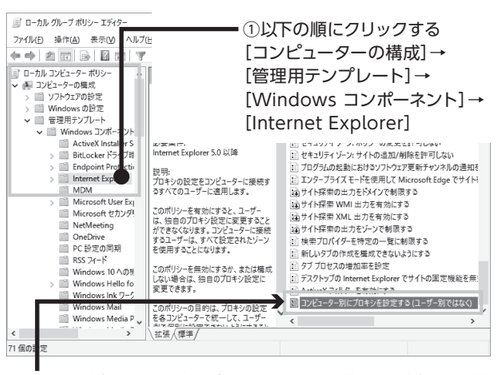
3



①gpedit.msc と入力する
②[OK] をクリック

⇒ グループポリシー エディターが起動します。

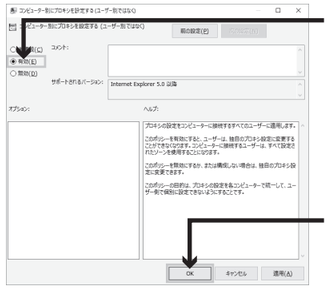
4



①以下の順にクリックする
[コンピューターの構成]→
[管理用テンプレート]→
[Windows コンポーネント]→
[Internet Explorer]

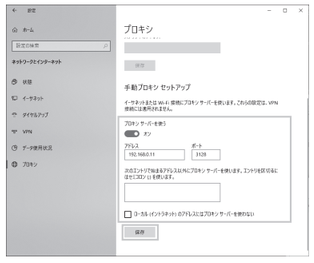
②[コンピューター別にプロキシを設定する（ユーザー別ではなく）] をダブルクリックする

5



①[有効] を選ぶ
②[OK] をクリック

6 プロキシサーバーの設定をおこなう
① スタートメニューから（設定）をクリックする
②[ネットワークとインターネット] をクリックする
③ 左のメニューから［プロキシ］をクリックする
④ プロキシサーバーを設定し、[保存] をクリックする



以上で、設定完了です。次に Adobe Acrobat Reader を入手・設定してください。

3. Adobe Acrobat Readerを入手し、設定する

Adobe Acrobat Reader は、LTV-Sign（タイムスタンプ専用）の出力データの閲覧などに使用します。
インストールされていない場合は、以下からダウンロードしインストールしてください。（Microsoft Edge からダウンロードしてください。）

https://get.adobe.com/jp/reader/

● Adobe Acrobat Reader で署名済み PDF ファイルを検証するための設定

1 タイムスタンプ専用機にログオンする

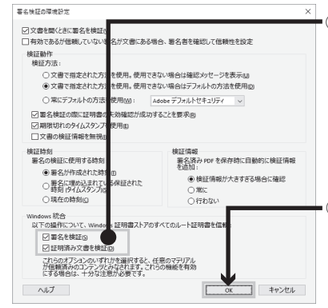
2 Acrobat Reader を起動し、メニューの [編集]→[環境設定] をクリックする

3



①[署名] をクリックする
②検証の［詳細］をクリックする

4



①Windows 統合の［署名を検証］と［証明済み文書を検証］にチェックをつける
②[OK] をクリック

5. 認証局ルート証明書を登録する

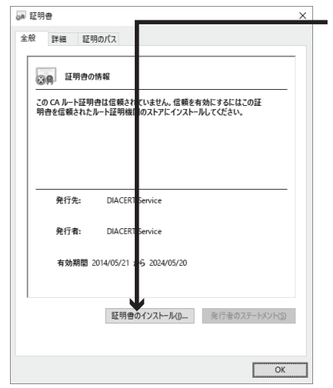
証明書は LTV-Sign の設定時に登録しますが、認証局ルート証明書は、事前に Windows 証明書ストアに登録する必要があります。

認証局ルート証明書の登録方法について
登録時に使用するファイルや手順については、利用する認証局（証明書）によって異なるため、証明書を購入した認証局にお問い合わせください。

(参考) 認証局ルート証明書を Windows 証明書ストアに登録する方法

1 ルート証明書ファイルをダブルクリック

2



[証明書のインストール] をクリック

3



①[ローカル コンピュー ター] を選ぶ
②[次へ] をクリック

裏面へ続きます。

初期設定（つづき）

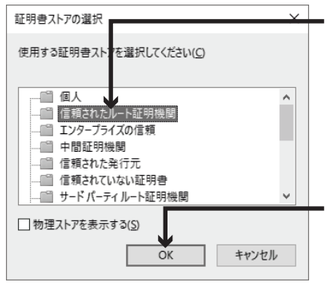
4



①[証明書をすべて次のストアに配置する] を選ぶ

②[参照] をクリック

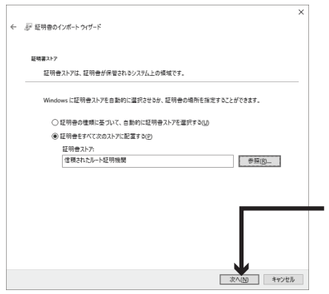
5



①[信頼されたルート証明機関] を選ぶ

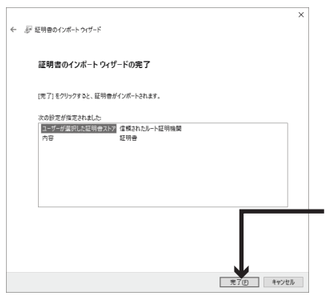
②[OK] をクリック

6



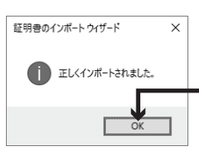
[次へ] をクリック

7



[完了] をクリック

8



[OK] をクリック

これで登録は完了です。

アプリを入手する

IOPortal（I-O DATA 会員情報サービス）にログインし、本アプリのインストーラーファイルをダウンロードします。

1 **以下の Web ページにアクセスする**
https://ioportal.iodata.jp/

2



IOPortal へログイン

はじめての場合ここをクリック

※登録後、本製品のシリアル番号を登録することで、ダウンロードできます。

3



[製品を登録する] をクリック

4



①本紙記載のシリアル番号を入力

②[製品を登録する] をクリック

5 内容を確認し、[製品を登録する] をクリック

6 [登録製品の一覧へ戻る] をクリック

7



本アプリ (LTV-Sign.zip) の [ダウンロード] をクリック

8



お使いの OS をクリック

9 [ダウンロード] をクリック

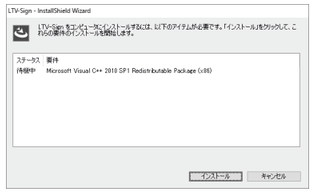
これで本アプリのダウンロードは完了です。

インストールする

IOPortal（I-O DATA 会員情報サービス）にログインし、本アプリのインストーラーファイルをダウンロードします。

1 ダウンロードしたファイル（LTV-Sign.zip）を展開し、setup.exe をダブルクリック

2 画面の指示にしたがってインストールを完了させる



・
・
・



これで本アプリのインストールは完了です。
Adobe Acrobat がインストールされていない場合は、以下の画面からインストールしてください。



アプリを起動する

アプリをインストールすると、自動起動し、その後常駐します。まずは初期設定をおこなってください。

1 ソフトウェア使用許諾契約が表示されたら、すべて確認し [同意する] をクリック

2 画面右下に以下の画面が表示されるので、[初期設定する] をクリック



初期設定の方法は、詳細ガイド（Web）をご確認ください。

よくあるご質問

●LTV-Sign の使い方について

以下にアクセスし、詳細ガイド（Web）をご覧ください。

https://www.iodata.jp/lib/manual/ltv-sign-manual/

※スマートフォンからもご覧いただけます→

本アプリの［その他］→［ログ］→［マニュアルを開く］からでも見ることができます。

●ライセンスの延長はできますか？

ライセンスの延長はできません。
LTV 署名拡張オプション（LTV-Sign）は、タイムスタンプ専用機の利用可能期間に依存します。
引き続き利用する場合は、新しくタイムスタンプ専用機と LTV 署名拡張オプション（LTV-Sign）をご購入ください。

アフターサービス

重要

- ●本製品の修理対応、電話やメール等によるサポート対応、ソフトウェアのアップデート対応、本製品がサーバー等のサービスを利用する場合、そのサービスについては、弊社が本製品の生産を完了してから5年間を目途に終了とさせていただきます。なお5年以前であっても一部OS搭載製品において、搭載OSのサポートが終了した場合は併せて終了とさせていただきます。(保証期間内及び弊社有償保守サービス実施可能期間内の場合は除く)
- ●個人情報は、株式会社アイ・オー・データ機器のプライバシーポリシー（https://www.iodata.jp/privacy.htm）に基づき、適切な管理と運用をおこないます。

お問い合わせ/修理窓口

https://www.iodata.jp/support/after/tel/ld.htm

電話でのお問い合わせ

050-3116-3025

受付 9:00～17:00 月～金曜日（祝祭日・年末年始・夏期休業期間をのぞく）
※お問い合わせいただく際は、商品の型番をご用意ください。

［ご注意］
1)本製品及び本書は株式会社アイ・オー・データ機器の著作物です。したがって、別段の定めの無い限り、本製品及び本書の一部または全部を無断で複製、複写、転載、改変することは法律で禁じられています。
2)本製品は、医療機器、原子力設備や機器、航空宇宙機器、輸送設備や機器、兵器システムなどの人命に関る設備や機器、及び海底中継器、宇宙衛星などの高度な信頼性を必要とする設備や機器としての使用またはこれらに組み込んでの使用は意図されておりません。これら、設備や機器、制御システムなどに本製品を使用され、本製品の故障により、人身事故、火災事故、社会的な損害などが生じても、弊社ではいかなる責任も負いかねます。設備や機器、制御システムなどにおいて、冗長設計、火災延焼対策設計、誤動作防止設計など、安全設計に万全を期されるようご注意願います。
3)本製品は日本国内仕様です。本製品を日本国外で使用された場合、弊社は一切の責任を負いかねます。また、弊社は本製品に関し、日本国外への技術サポート、及びアフターサービス等を行っておりませんので、予めご了承ください。(This product is for use only in Japan. We bear no responsibility for any damages or losses arising from use of, or inability to use, this product outside Japan and provide no technical support or after-service for this product outside Japan.)
4)本製品を運用した結果の他への影響については、上記にかかわらず責任は負いかねますのでご了承ください。

［商標について］
記載されている会社名、製品名等は一般に各社の商標または登録商標です。